2012年3月期
決算説明会

2012年5月14日
株式会社ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2012年3月期 決算概況

Ⅱ．2013年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2012年3月期

決算概況

12年3月期連結決算概況

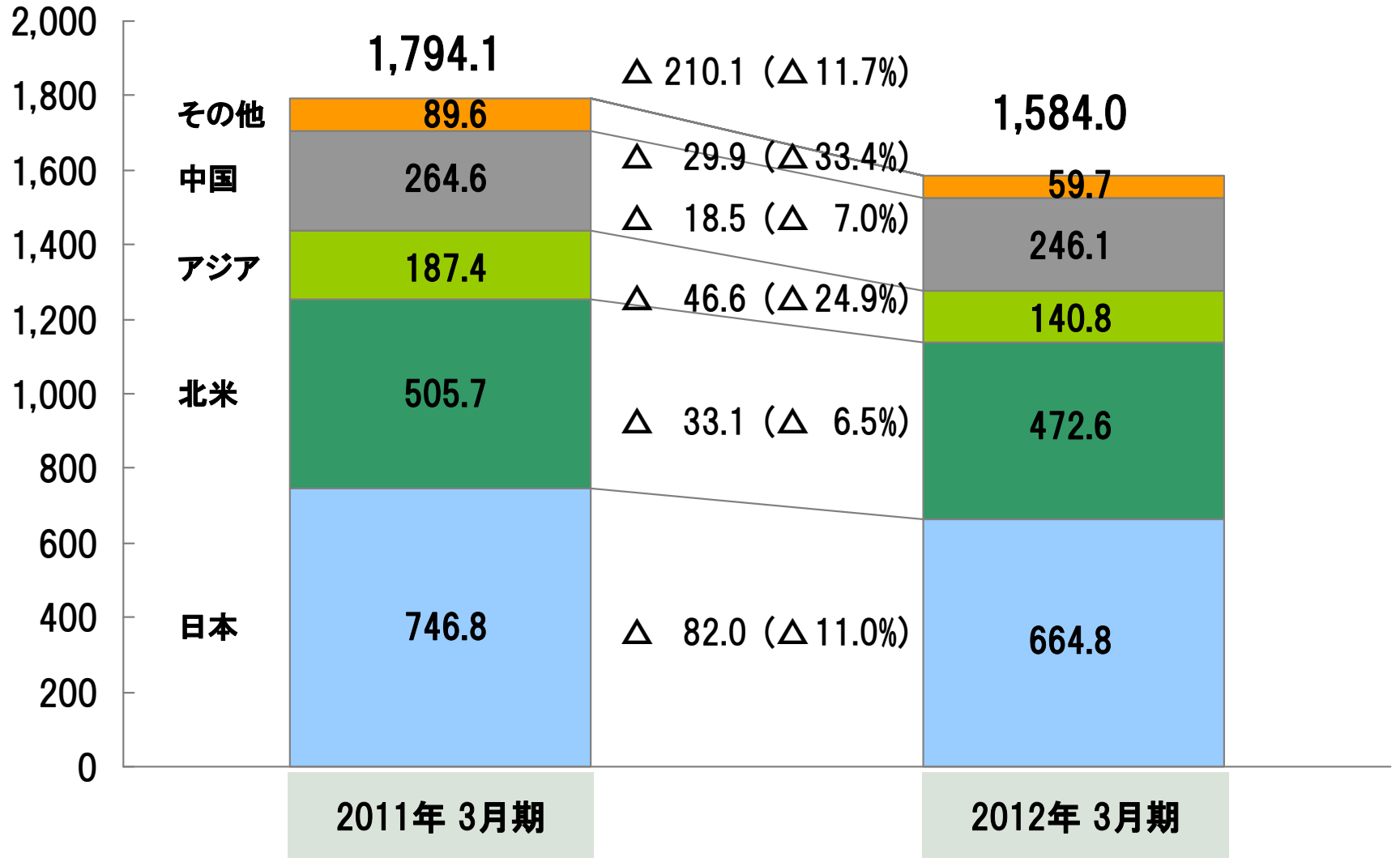
（単位：億円）

	2011年 3月期	2012年 3月期	増　減
売上高	1,794.1	1,584.0	△11.7 %
営業利益	114.9	50.8	△55.8 %
経常利益	111.3	51.4	△53.8 %
当期純利益	61.0 *震災影響に伴う特別損失5.4含む	24.9	△59.2 %
1株当り当期純利益	412.07円	168.27円	△243.80円
1株当り配当金	35.0 円 *中間15円，期末20円	35.0 円 *中間17円，期末18円	― 円
	($1=¥85)	($1=¥79)	

震災・タイ洪水・為替影響により、減収減益

12年3月期連結決算概況 地域別売上高

（単位：億円）　　（セグメント間の内部売上高及び振替高を除く）

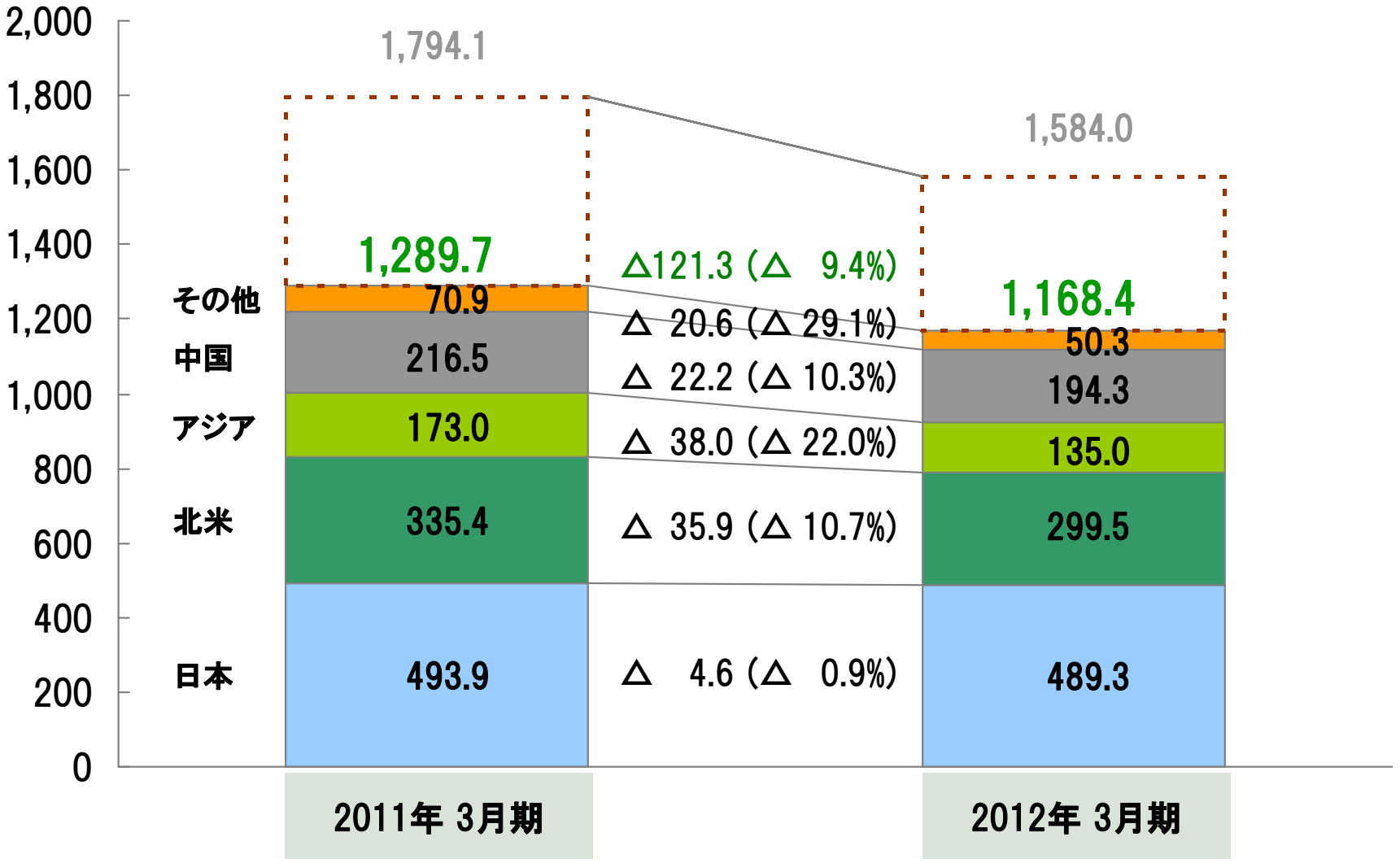


震災・タイ洪水影響により、全ての地域で減収

12年3月期連結決算概況 地域別売上高

（単位：億円）

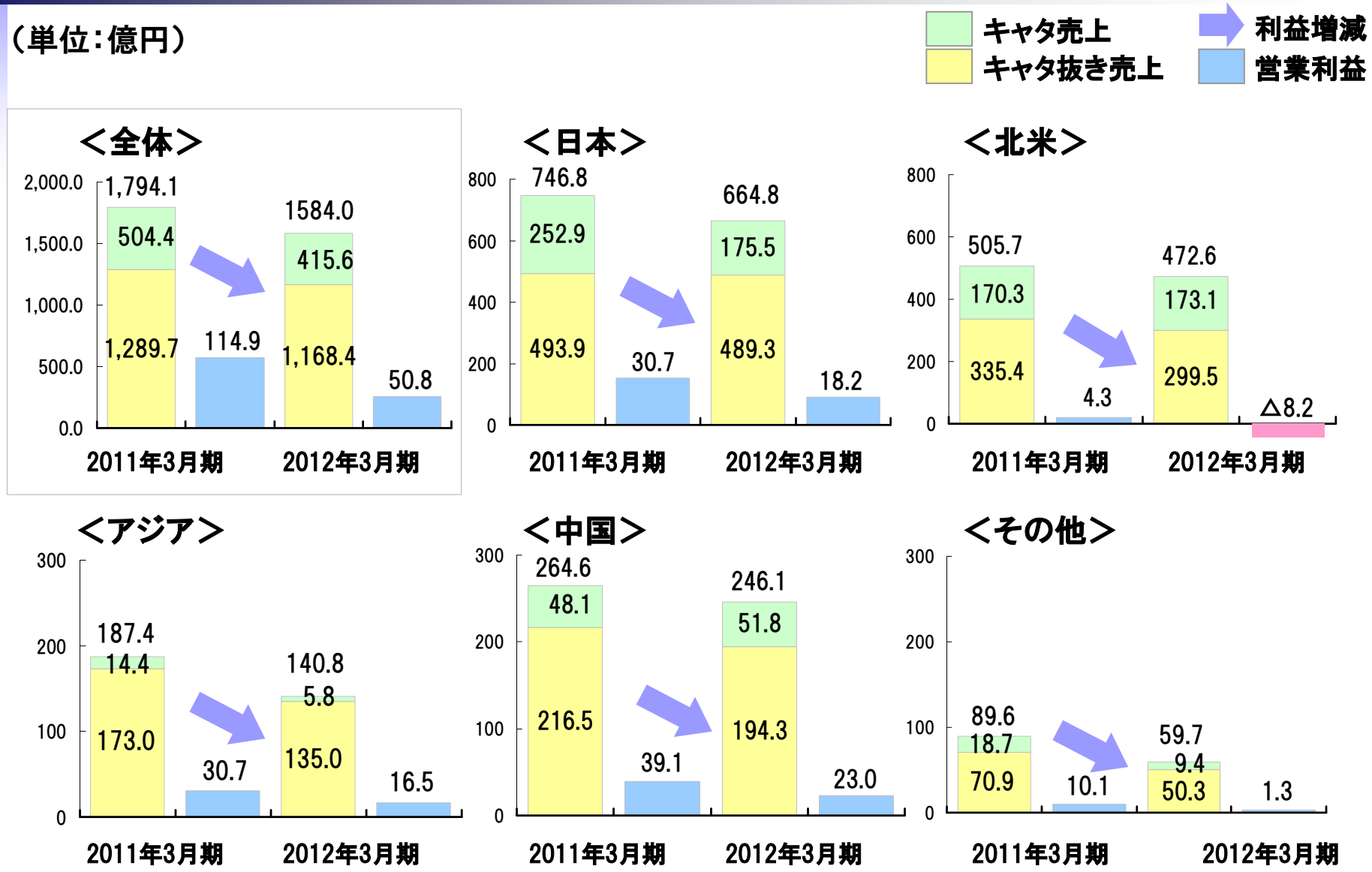
（キャタリスト抜き）



キャタリスト抜きでも全地域で減収

12年3月期連結決算概況 地域別営業利益

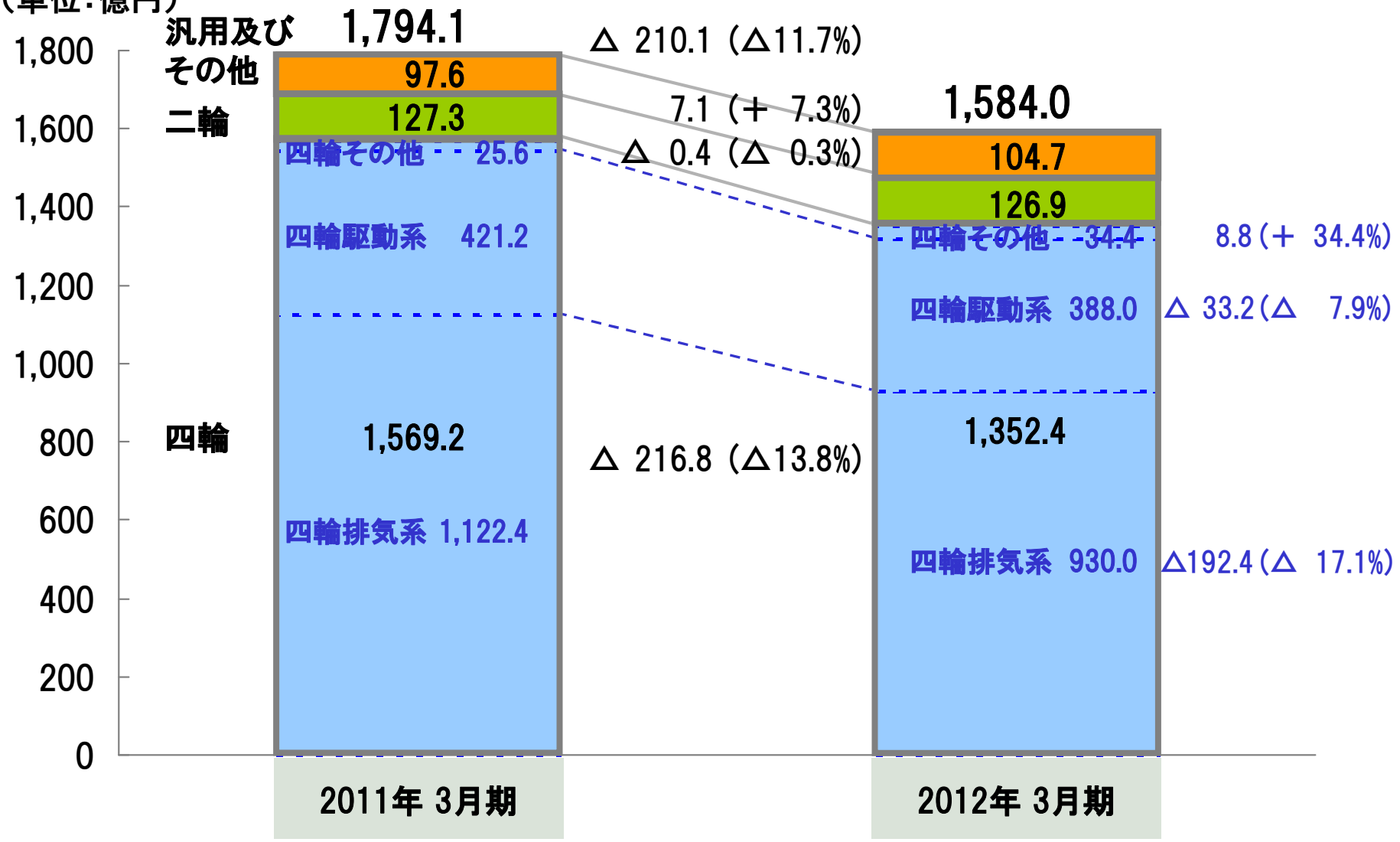
（単位：億円）



全地域で減収減益

12年3月期連結決算概況 製品別売上高

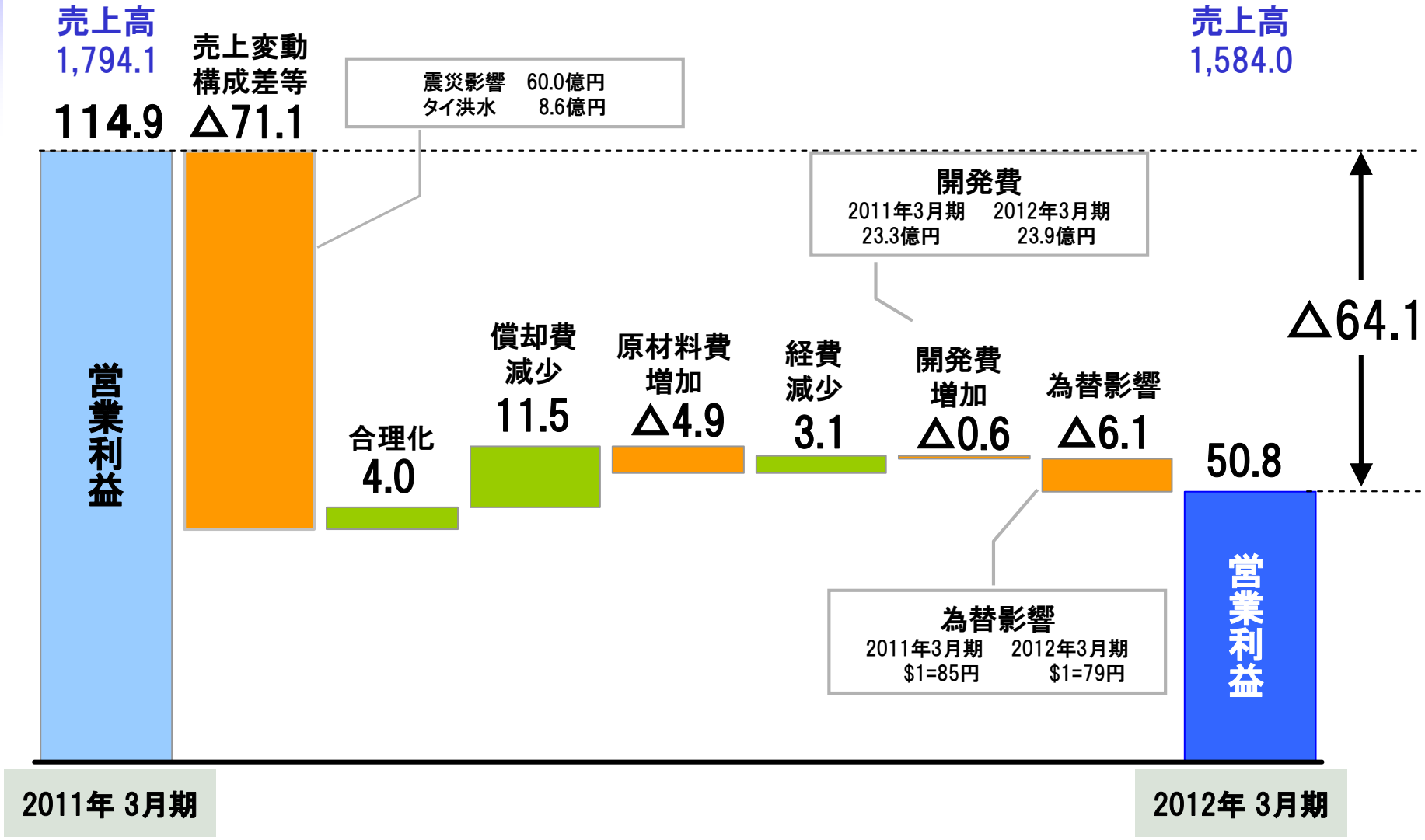
（単位：億円）



自動車部品四輪の減産影響により減収

12年3月期連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）



合理化、費用削減を実施したが震災及びタイ洪水影響が大きく64億円の減益

2013年3月期
見通し

13年3月期連結見通し

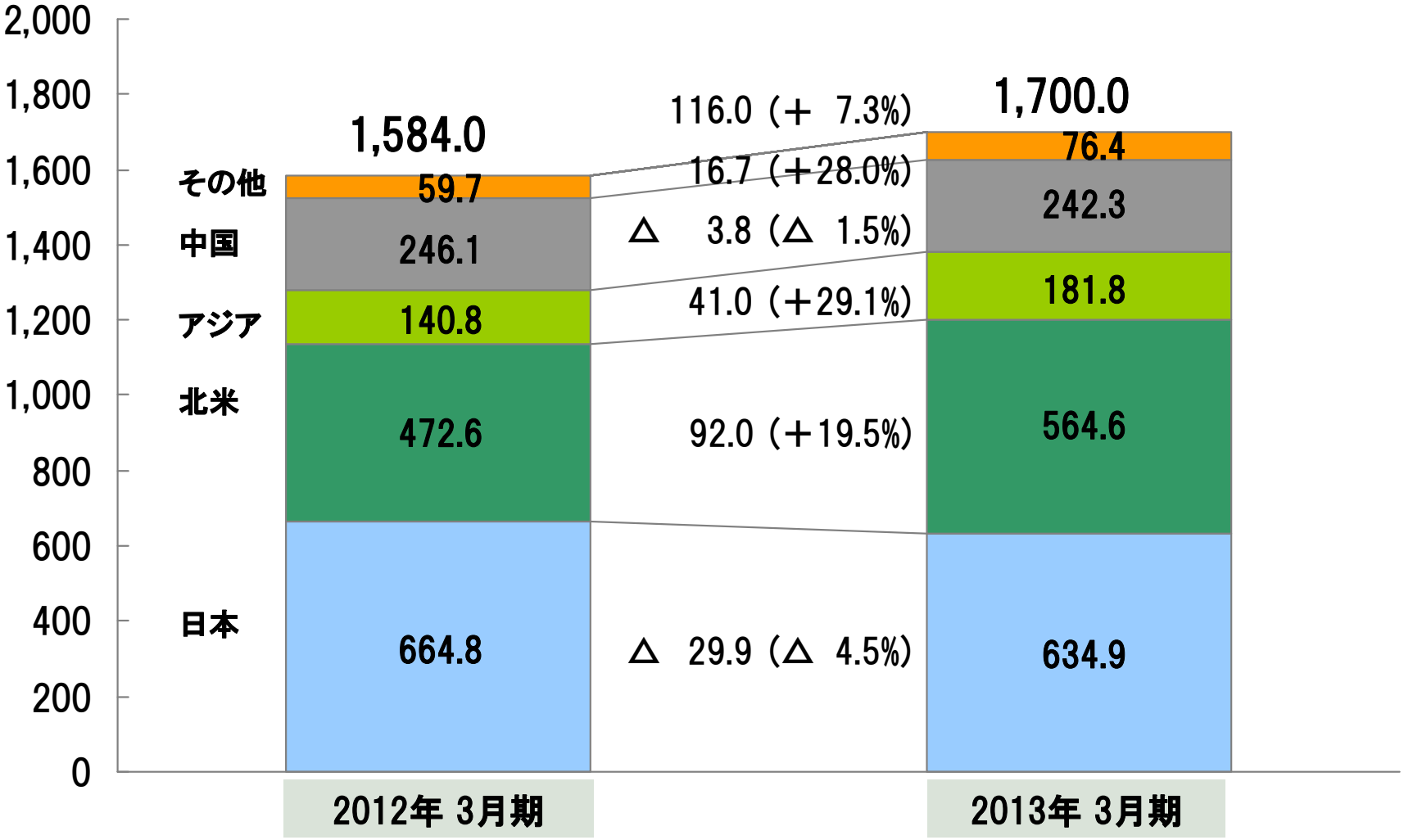
（単位：億円）

	2012年 3月期	2013年 3月期	増　減
売上高	1,584.0	1,700.0	7.3 %
営業利益	50.8	83.0	63.2 %
経常利益	51.4	82.0	59.2 %
当期純利益	24.9	40.0	60.4 %
1株当り当期純利益	168.27円	269.93円	101.66円
1株当り配当金	35.0 円 ＊中間 17円，期末 18円	36.0 円 ＊中間 18円，期末 18円	1.0 円
	($1=¥79)	($1=¥80)	

前期に対し増収増益

13年3月期連結見通し 地域別売上高

（単位：億円）　　（セグメント間の内部売上高及び振替高を除く）

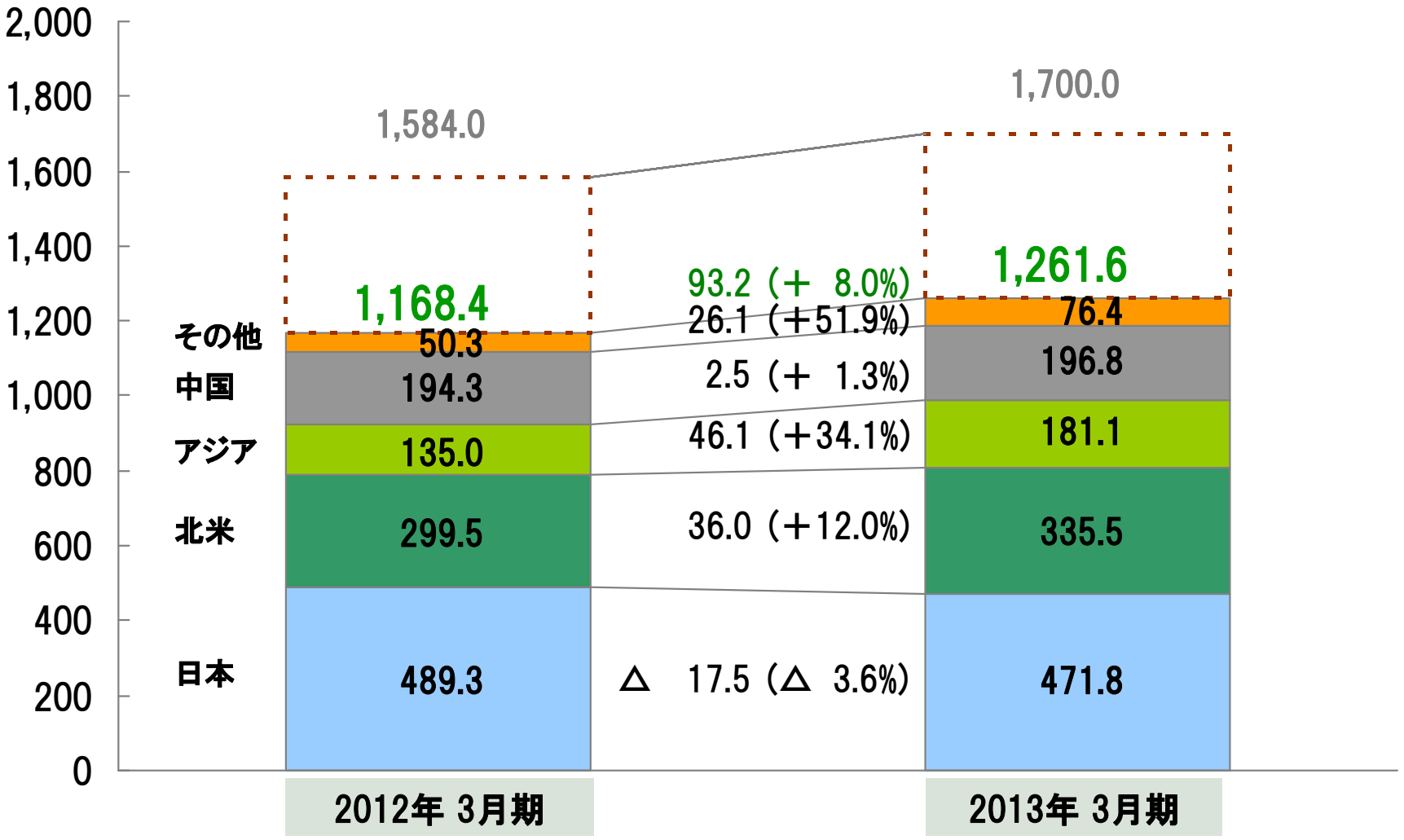


北米・アジア・その他地域で増収の見通し

13年3月期連結見通し 地域別売上高

（単位：億円）

（キャタリスト抜き）

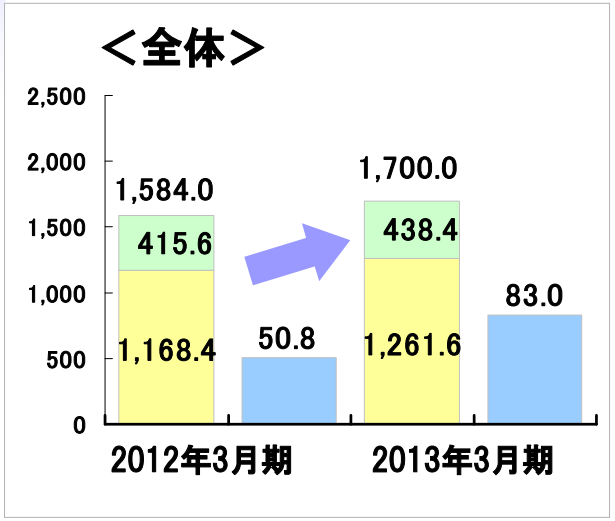


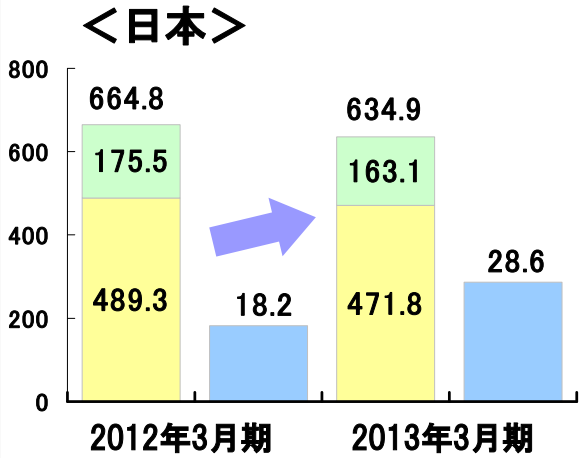
キャタリスト抜きでも増収見通し

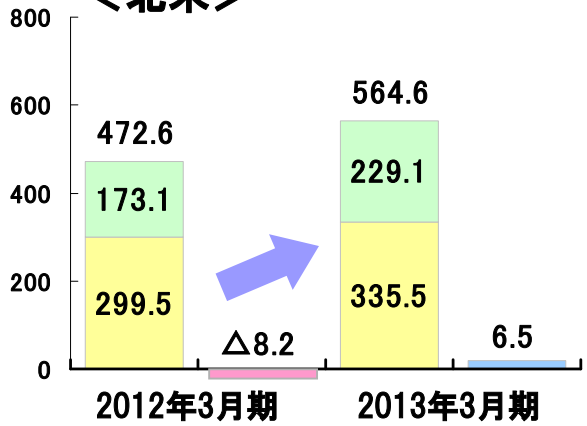
13年3月期連結見通し 地域別営業利益

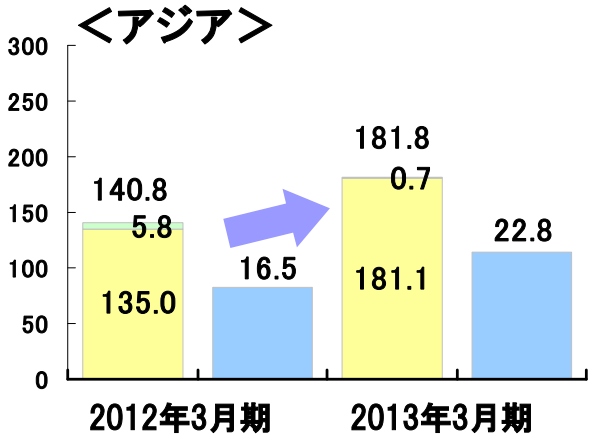
（単位：億円）

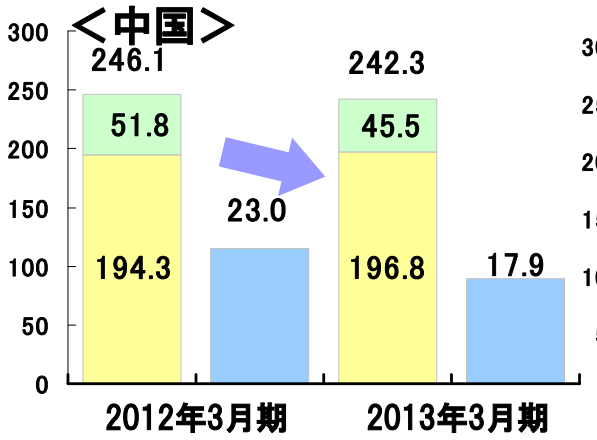


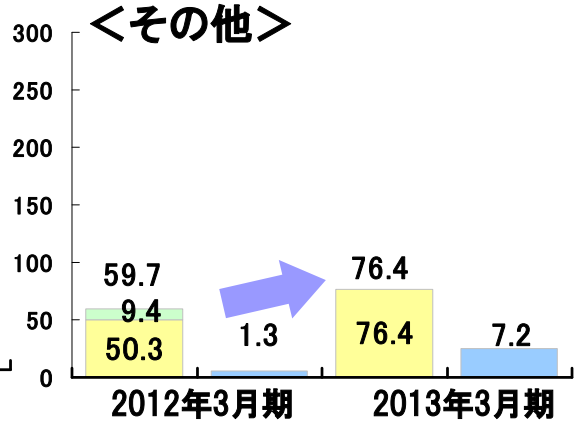








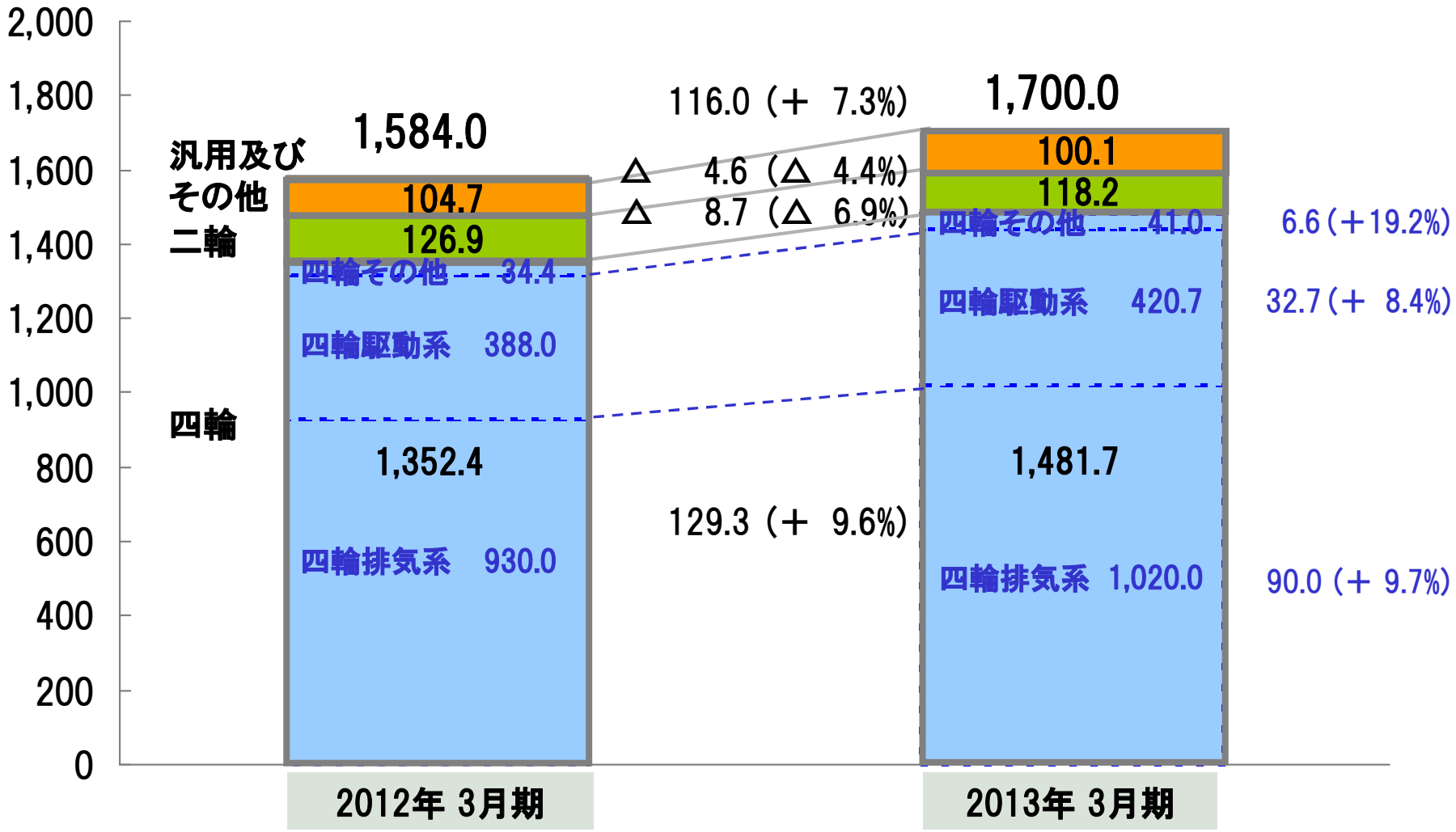




中国以外の地域で増益

13年3月期連結見通し 製品別売上高

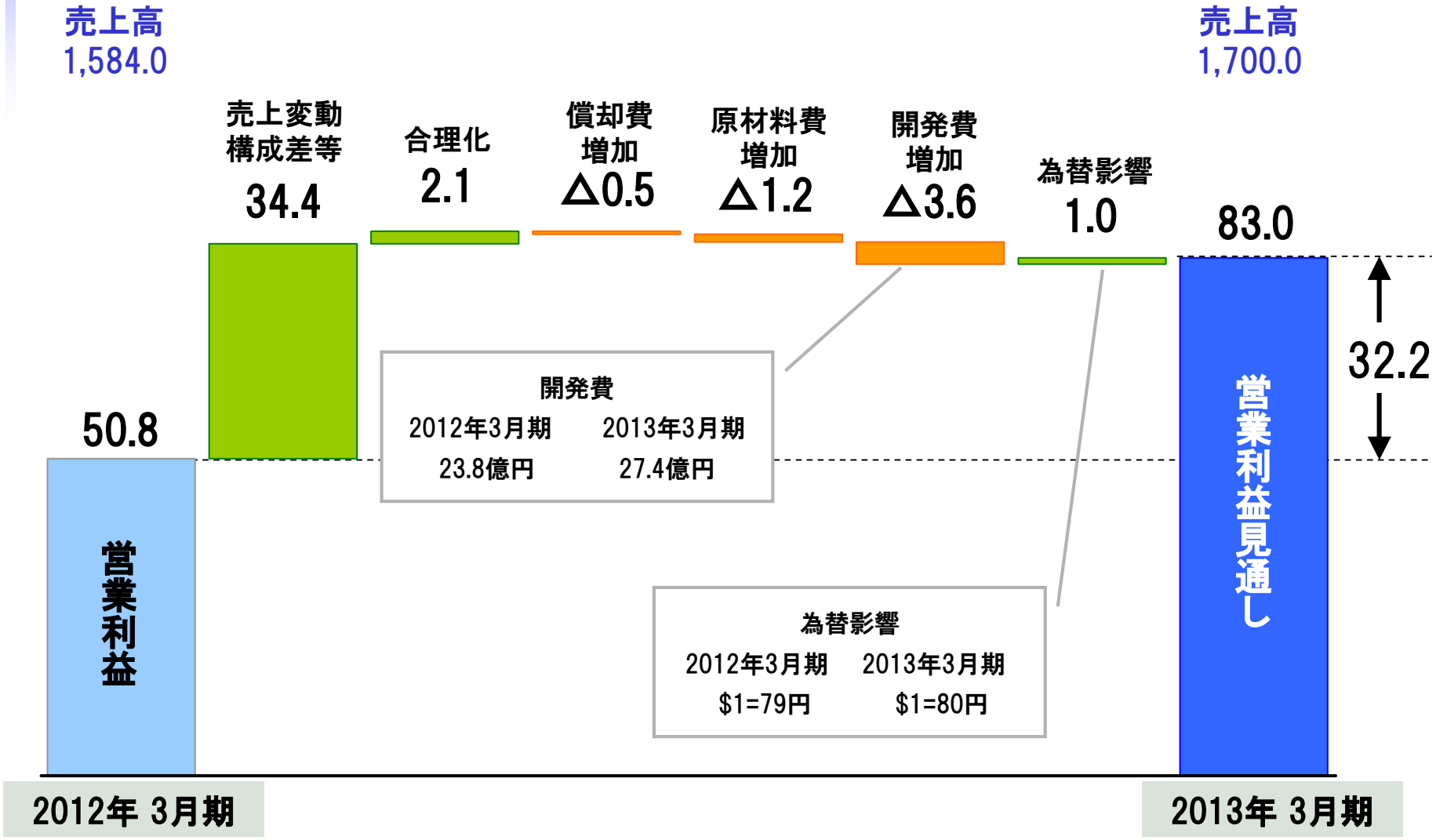
（単位：億円）



自動車部品四輪の増産効果により増収

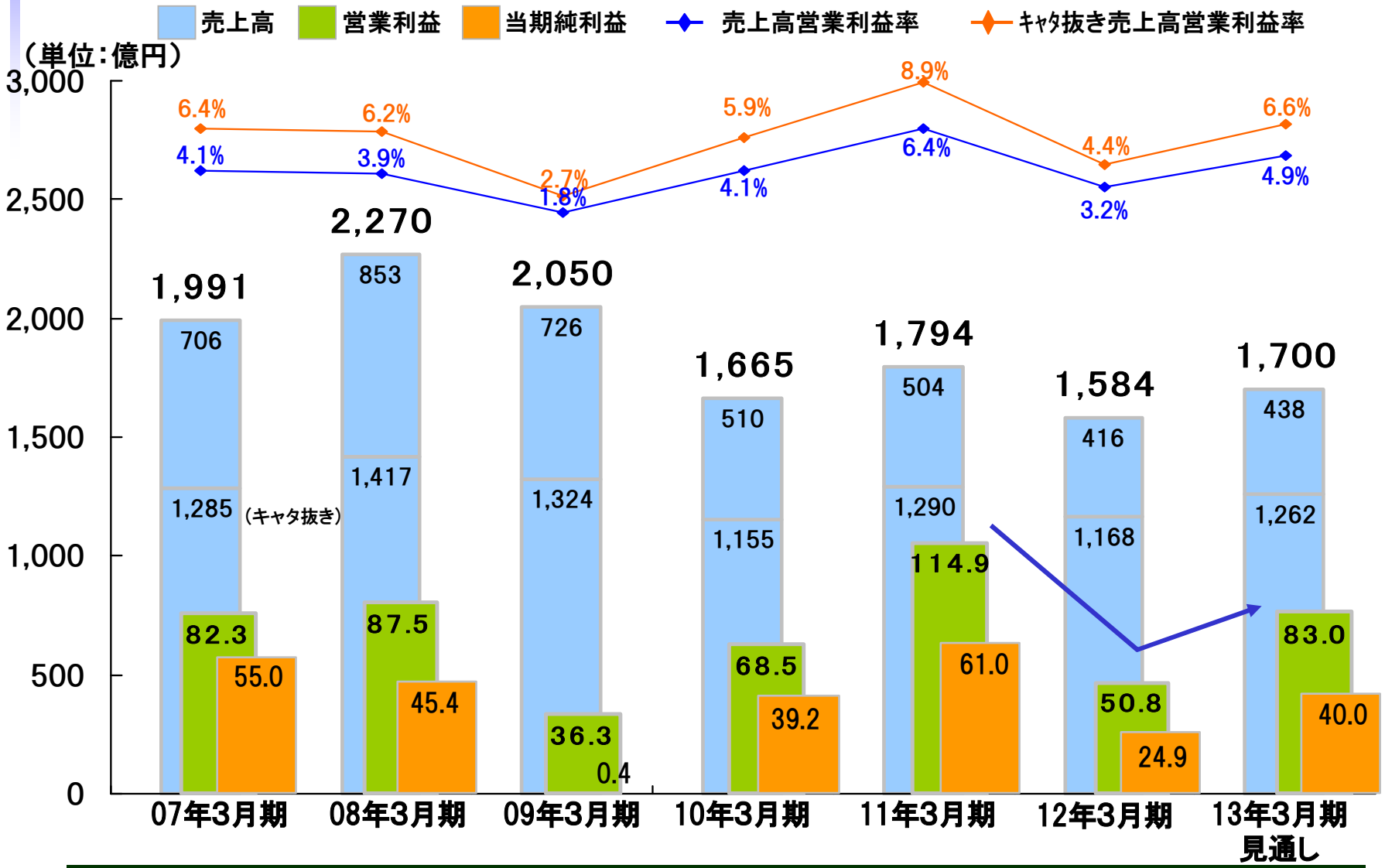
13年3月期連結見通し 営業利益 増減要因

（単位：億円）



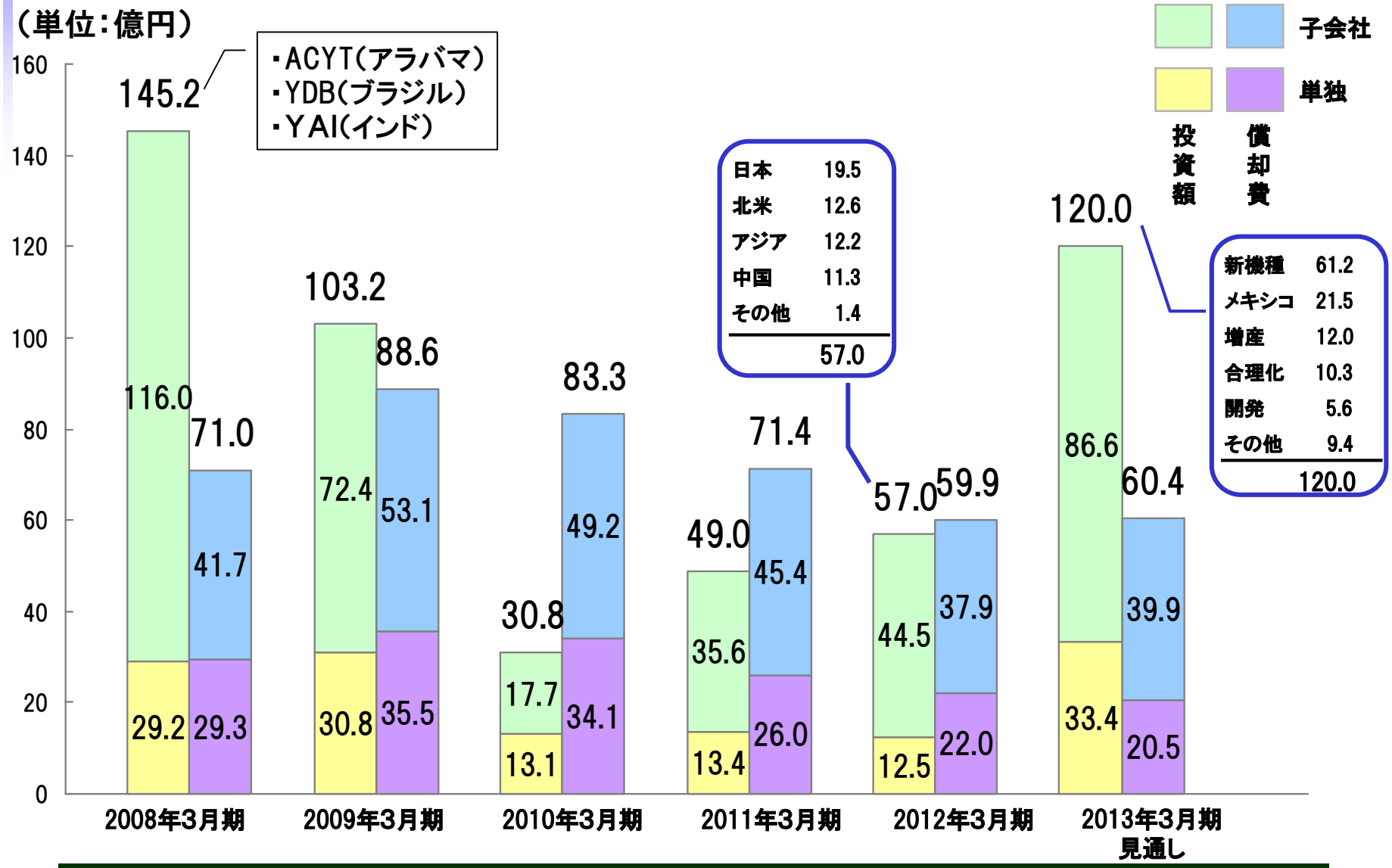
売上増加・合理化等により、増益の見通し

13年3月期連結見通し 売上及び利益の推移



13年3月期は海外の増量により収益回復

13年3月期連結見通し 設備投資額の推移



新拠点・新機種投資及び増産対応投資を実施

事業状況

第11次中期計画について

YUTAKA Clean for the Future

＜第11次中期スローガン＞

Challenge 挑戦
～次世代に向けて～

行動指針

- 環境変化を的確につかみスピーディに行動
- 技術と経験を伝授し共に進化
- 世界のユタカ人POWERを結集し共に前進
- 仲間と語り活気ある職場づくり

＜戦略テーマ＞



＜全社方針＞

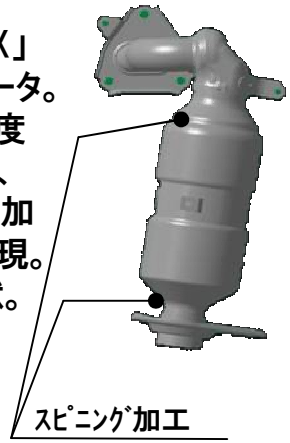
- 常に新しい価値を創造し、独創的な製品を供給し続ける企業
- 環境負荷を積極的に削減し、世界各地でお客様に貢献する企業

新機種Yutaka搭載製品紹介　＜環境を優先した製品づくり＞

YUTAKA Clean for the Future

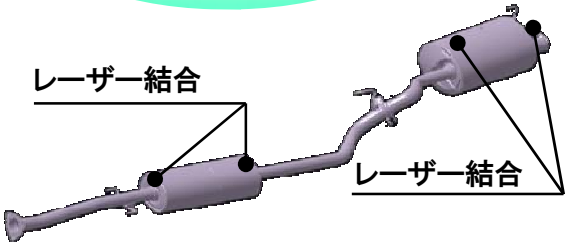
燃費向上　軽量化　クリーンな空気　シンプル化

販売好調の軽乗用車「Honda N-BOX」に採用されたYutaka製触媒コンバータ。
Yutaka独自のシュリンク製法（低強度キャタリストキャニング技術）に加え、ケース両端のコーン部にスピニング加工を施し、ケースとの一体成形を実現。
部品点数削減、軽量化に大きく貢献。





N BOX Custom G



レーザー結合消音器を新規開発。
グローバルモデル「Honda CR-V」に採用。
本技術は、消音器の軽量化のみならず、消音器廻りの空気抵抗低減形状設計が可能となり、燃費向上を実現。



CR-V 20G

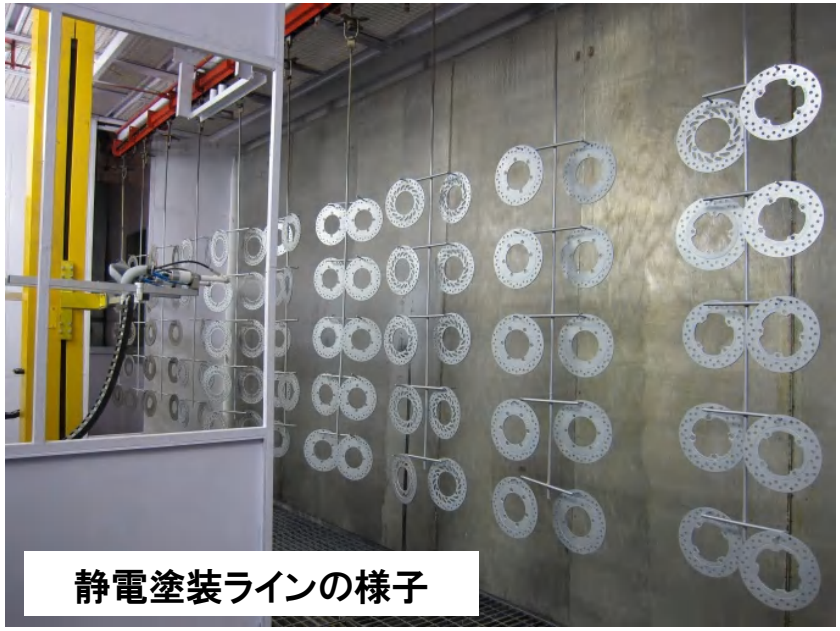
これまで培ってきた技術力と新しい創造力で
チャレンジングに取り組み主幹製品を究極まで進化

Yutakaアジア拠点の能力拡大　＜事例① YAI(インド)＞

成長著しいインド市場の需要に対応するために2011年に工場を拡張
2012年にコスト競争力UPを目的とした塗装工程の内製化を行い一貫加工ラインを構築

＜塗装ラインの内作化＞

内製化と静電塗装により塗着効率が大幅に向上し、コスト競争力アップにも貢献



静電塗装ラインの様子

2011年まで	→	2012年から
5,000枚(2直) 外作		10,400枚(2直) 内製化

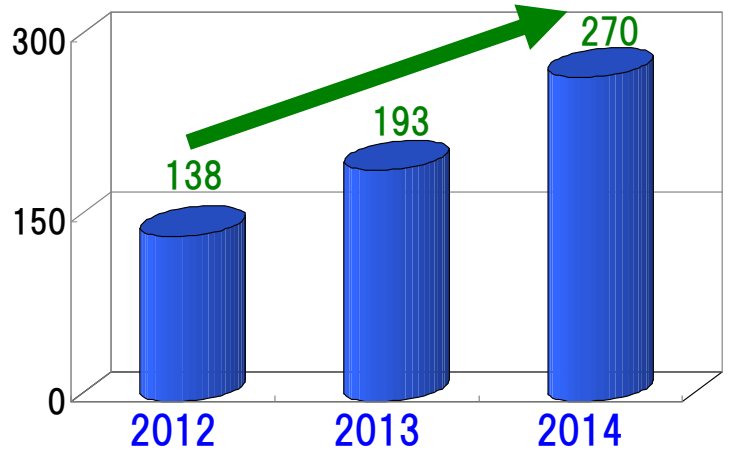
＜YAI製ブレーキディスク＞





YAIでは現在19機種のブレーキディスクを生産し
お客様(HMSI／HERO)に納入

＜ブレーキディスク生産能力＞　単位:万枚



Yutakaアジア拠点の能力拡大　＜事例② YST(タイ)＞

アジアの市場拡大に向けた安定供給に加え、新機種の生産ライン構想の中で、拠点自身の技術力の向上とコスト競争力の強化を図るため、パイプを曲げるベンダー設備を導入し、パイプ部品の内製化を図る

＜ベンダー設備の導入＞

パイプ曲げ技術の手の内化と品質向上を狙いベンダー設備を導入



機能は同等でありながら、投資額を日本製比22%削減を図った台湾製ベンダー設備

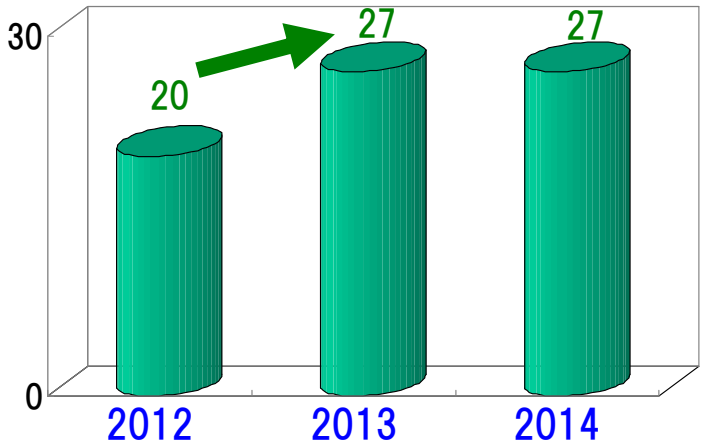
＜YST製サイレンサー＞



CR-V用　CIVIC用　BRIO用

＜サイレンサー生産能力＞

単位:万台



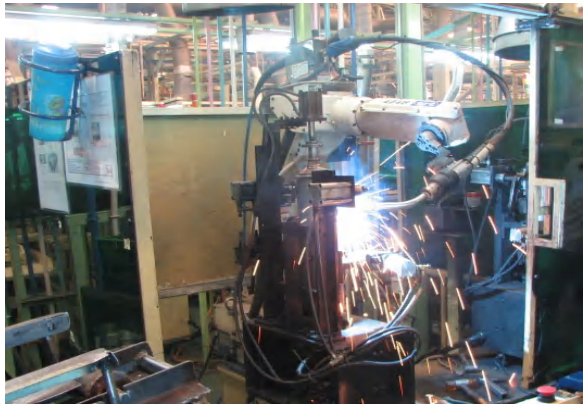
設備増強及び高効率ラインレイアウト改善により、130%の能力拡大

Yutakaアジア拠点の能力拡大　＜事例③ YMI(インドネシア)＞

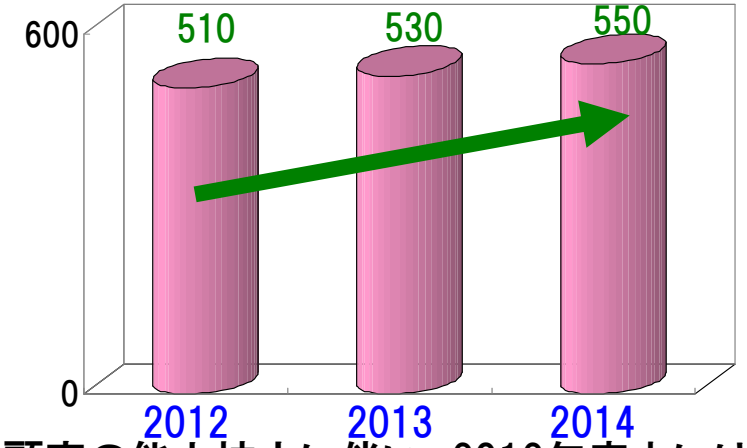
二輪車用ブレーキディスク、マフラーの能力拡大に加え、四輪車用排気系生産を増強

＜二輪マフラーASSYライン＞

スクーター専用の溶接工程を新設



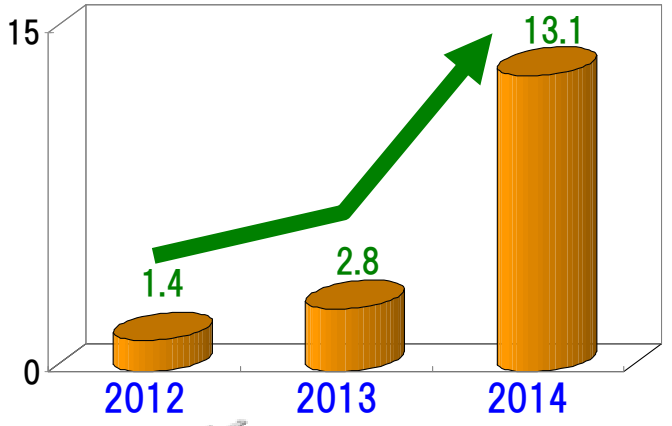
＜ブレーキディスク生産能力＞　単位:万枚

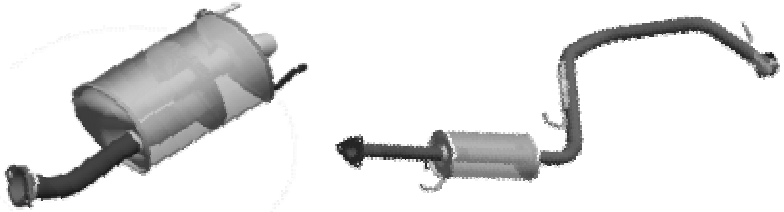


顧客の能力拡大に伴い、2012年度中には510万枚(昨年実績約9%増)の生産予定

＜四輪排気系生産能力＞　単位:万台

四輪車の需要拡大に対応するために2013年度をめどに工場の増築予定





既存量産のCR-Vサイレンサー、エキパイなどのCOLD系製品に加え、コンバータのHOT系製品の生産や他機種にも対応できる体制を構築

メキシコに新たな生産拠点を設立

メキシコを含む北米地域の自動車市場拡大への対応と北米地域における更なる
競争力を図るため2014年1月の操業スタートに向けて新たにメキシコ拠点を設立

＜メキシコ新拠点(YDM)について＞

会社名　　：Yutaka Technologies de Mexico S.A. de C.V. (YDM)
　　ユタカ・テクノロジーズ・デ・メキシコ・エス・エー・デ・シー・ブイ
設立日　　：2012年3月
資本金　　：2千7百万米ドル(予定)
操業開始日：2014年1月予定
生産品目　：トルクコンバータ、排気一貫システム(車種FIT/JAZZ)
主要取引先：Honda Mexico de S.A. de C.V. (HDM)
　　Honda Automoveis do Brazil Ltda (HAB)




YDM工場完成予想図


YUTAKA
Clean for the Future